

マレーシアUNIMAS大学工学部とのgPBL授業

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年08月11日 ～2025年08月25日	マレーシア	サラワク大学	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学科、システム理工学専攻 ・学部3年生、学部2年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生19名、学生バイト2名、 教員3名、職員1名 (サラワク大学) 学生10名、学生バイト2名、 教員8名、職員10名	SHAHROL BIN MOHA MADDAN(先進国際課程)、 渡邊 直夫(生命科学科)、高 山 祐三(生命科学科)



図1 製作車体の動作競技の風景

今年のgPBL授業テーマはECO-MOVE-Challengeと題して、SDGsの観点から環境にやさしい再利用部品を5割以上利用したVehicle製作に取り組んだ。冒頭で本学学生達とUNIMAS大学工学部の学生達は、5つの混成チームに分かれた(1チーム、日本人4名、マレーシア人2名)後で、Missionを与えられ、その後各班で、ブレーンストーミング、3DCADを用いたデザイン、中間発表、3Dプリンタを用いた試作、静力学解析によるデザインの妥当性評価、市販部品購入による組み立て作業と改良作業等に取り組んだ。最終成果発表会では、パワーポイントスライドショーを利用した発表と質疑応答、その後、その試作機の性能競争イベントを実施した。



図2 最終成果発表に臨む学生達の様子

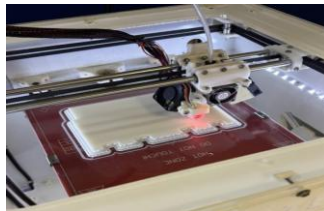


図3 3Dプリンタを利用した部品製作風景



図4 最終発表会の風景2